

町内産業の影響・支援は

景気回復の施策を検討



矢野 依伸 議員

要請を行ったこともあり影響が大きい。また、日常生活関連雑貨や食料品を扱う商店の売り上げの増減は様々な状況となっている。

**問** 新型コロナウイルス拡大に伴う町内の一次産業、宿泊業者、商店等の経済的影響はどのような状況にあるか。

**答** 門田 産業推進室長

全国的なイベントの縮小、中止、延期などにより、花き類の出荷額が前年度に比べ半減。水産業は緊急事態宣言発令に伴う飲食店の休業などで鮮魚品目に落ち込みが顕著に表れている。特に宿泊業は外出の自粛や町からの休業

**問** 国・県の支援策に加え、町独自の支援策を講じてきたが、これまでの支援効果はどうか。また、景気回復は長期的になると考えるが今後の支援策はどのように考えているか。

**答** 大西 町長

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、現段階で46の関連事業を立ち上げた。まず、最優先事項として資金ショートによる倒産を防ぐために4つの無利子融資制度立ち上げたが、利用実績から

すると効果は一定あったものと考えている。休業要請事業所への交付金は上限を定め前年同月の2分の1であるため効果については各経営体の分析等による。

今後、冷え込んだ飲食、物販を支援するためのプレミアム付き商品券、飲食券、また、幡多広域観光協議会が行うGOTキャンペーンなど観光誘客関連事業を進めていく。現在町内539事業所にアンケート調査を行っており、回収後早期に分析し、景気対策と併せ経営支援策等必要な施策の検討を進めていく。

避難所対策

感染予防の備えは

避難場所を増設する

**問** 梅雨、台風襲来の際を迎え、避難所開設における新型コロナウイルス感染症予防対策はどのように図っていくのか。

**答** 徳廣 情報防災課長

町開設の避難所を10ヶ所から18ヶ所へ増設するとともに、感染症対策マニュアルの作成や避難所に掲示する感染予防ポスターを作製する。また、各避難所には感染防止用の消耗品、備品等の整備を予定している。



マスク着用の授業風景（田の口小学校）

児童生徒支援

再開後の子どもの状況は

必要な対策をとっていく

**問** 新型コロナウイルス感染症による長期臨時休業後の、学校再開に伴う児童生徒への生活や学びに対するフォローはどうか。

**答** 畦地 教育長

学校再開後の児童生徒の状況は、現在のところ特に心のケアを必要とする状況にはないとの報告を受けているが、休校によってストレスを抱えたまま過ごしてきたことも事実なので、各校で児童生徒の様子に変化がないか十分注意をしている。変化があれば全教職員が情報共有した中で対応していく。

また、学習面については、確保できなかった授業時数は、夏季休業期間の短縮、7時間授業の実施や行事の中止・短縮などで対応し、学習の定着状況が不十分な場合は放課後補習や個別補習等を行うなど可能な限りの対応を講じて行く。